

飯舘村 第7次総合振興計画

概要版

うる きよ
美しく 清らかな村 いったて



飯舘村

飯舘村 第7次総合振興計画

概要版

飯舘村第7次総合振興計画について 2

- 1 策定の趣旨
- 2 計画の構成

I 基本構想 3

- 1 村の将来像
- 2 基本構想・基本計画図
- 3 目標
- 4 共通重点事項

II 基本計画 10

- 1 なりわい
- 2 健康
- 3 教育
- 4 生活
- 5 東日本大震災と原発事故からの復興



飯舘村第7次総合振興計画について

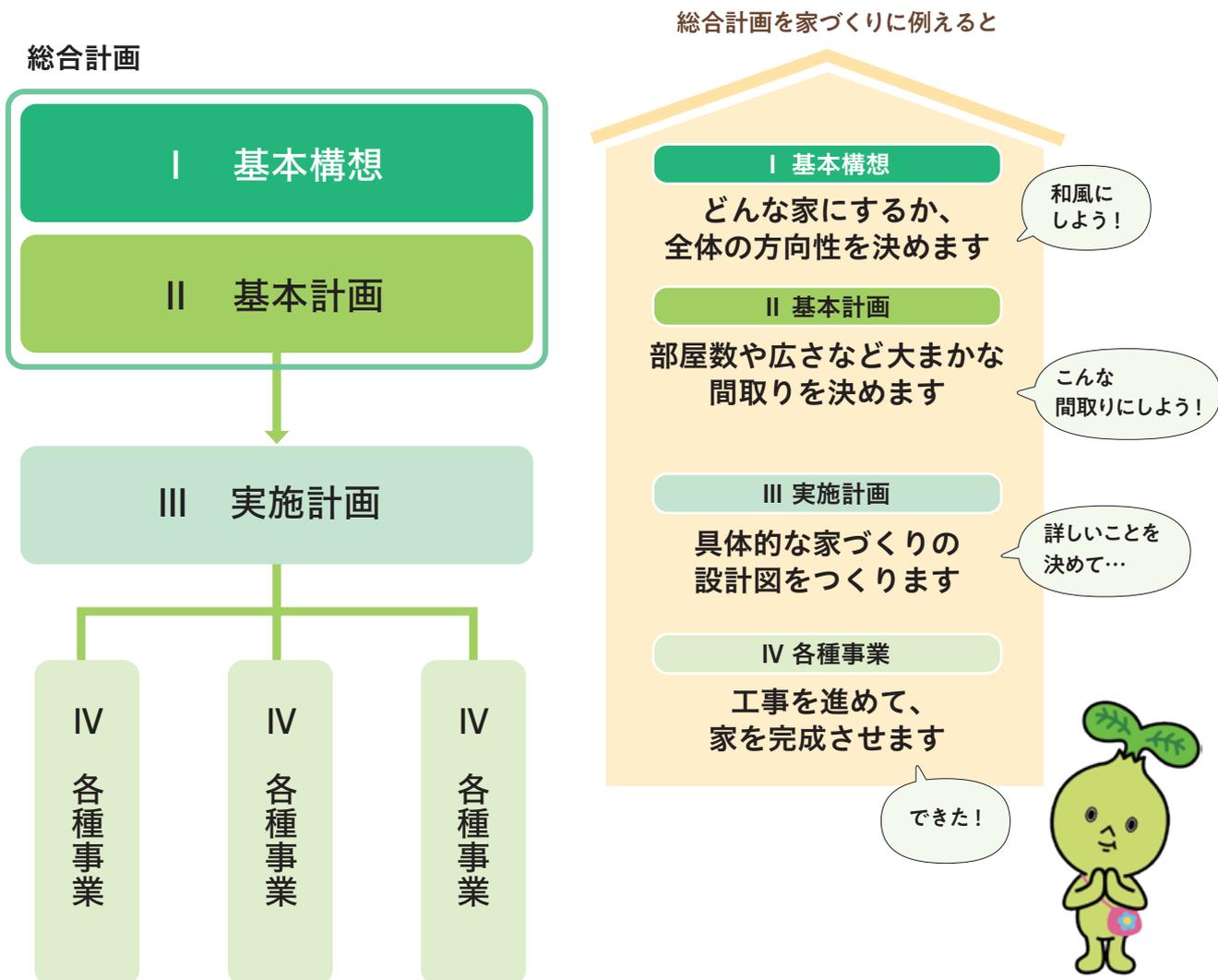
この概要版は、総合計画のポイントを分かりやすくまとめるとともに、村民の皆さんが日々の暮らしの中で関わることのできる取組を中心に紹介しています。行政だけでなく、村民一人ひとりの行動によって形づくられていく未来を、身近に感じてみてください。

1 策定の趣旨

総合振興計画は、飯舘村の目指す姿と、その実現化の方針を総合的・体系的にまとめた、本村の最上位計画です。本村が取り組む全ての計画及び各種事業は、総合計画に即して実施します。

- 基本構想期間：令和8(2026)年度～令和17(2035)年度(10年間)
- 基本計画期間：令和8(2026)年度～令和17(2035)年度(10年間)

2 計画の構成



基本構想

1 村の将来像

「^{うる}美しく ^{きよ}清らかな村 いたて」

「^{うる}美しく」「^{きよ}清らかな」という言葉は、専門部会やアンケートにおいても、村を表すイメージとして挙げられ、長く歌い継いできた村民歌「夢大らかに」の歌詞にも用いられるなど、村に根付いてきた想いを表すものでもあります。

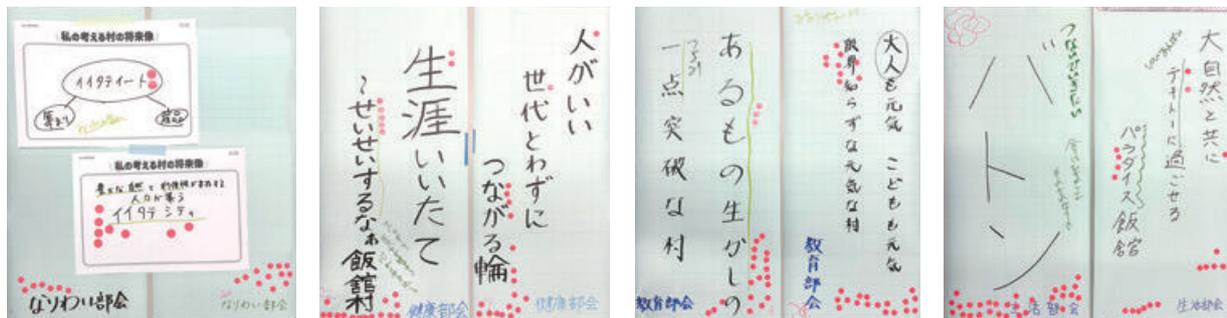
村制70周年を迎える今、この歌詞にある「^{うる}美しく」「^{きよ}清らかな」という言葉を将来像とすることで、村民一人ひとりがふるさとを思い、支え合いながら、将来の子ども達のためにも、豊かな自然と暮らしの環境を守り続け、「^{うる}美しく ^{きよ}清らかな村」を次の世代へとつないでいきます。

策定の経緯

村の将来像は、専門部会での意見を踏まえ、アンケートで挙げられたキーワード、策定委員会・策定推進委員会での協議を経て決定しました。

■専門部会

「村の将来像を考えよう」というテーマで検討し、各部会から様々な案が挙げられました。



■アンケート

村の将来像として大切にしたいキーワードとして、次のような言葉が挙げられました。

自然 元気 豊か 飯館村 バトン 利便性 共存 生涯 生き方
世代 イイタテシティ 人々 大人 せいせい 一点突破 子ども

また、多数の意見が挙げられました。

- ・さっぱりした人の心と雄大な自然がある村
- ・ほっとする場所であり心の中から消えることがない場所、自然、人、絆が強い所である
- ・村外に出かけるのも楽しいが、飯館に帰ってくると安心して「ただいま」と言いたくなる
- ・離れても飯館の空、空気、土が私を作ったと思う

村民歌「夢大らかに」

村民歌「夢大らかに」は、村制 10 周年を記念してつくられ、本村ゆかりの教育者・詩人・郷土史家である小林金次郎氏が作詞したものです。

歌詞には、四季が息づく豊かな自然へのまなざし、人への思いやり、そして手と手を取り合って村を興していこうという強い想いが込められています。震災後の避難先で暮らす多くの村民の心を支える拠りどころにもなっています。



村民歌「夢大らかに」



飯館村民歌

夢大らかに

作詞 小林金次郎
作曲 石河 清

一 山 美わしく

水 清らかな

その名も 飯館 わがふるさとよ

みどりの林に 小鳥は歌い

うらら 春陽に さわらび もえる

ああ われら 今こそ手と手

固く つなぎて 村を興さん

村を興さん

二 土 よく肥えて

人情ある

その名も 飯館 わがふるさとよ

実りの稲田に 陽は照りはえて

続く 阿武隈 山幸歌う

ああ われら 夢大らかに

ともに 励みて 村を富まさん

村を富まさん

2 基本構想・基本計画図

うる美わしく



きよ 清らかな村 いたて

iii DX (デジタル変革)

3 教育

学びと文化で 未来を拓く村

- (1) 学校教育
- (2) 生涯学習
- (3) 運動・スポーツ
- (4) 文化・伝統・歴史

- 3-(1) 一人ひとりの可能性と個性を伸ばす
「未来を拓く教育」の実現を目指します
- 3-(2) 地域の活性化を促す
「自立的な学び」による生涯学習の実現を目指します
- 3-(3) 誰もが気軽に運動・スポーツを楽しめる
環境づくりを目指します
- 3-(4) 地域に根ざした暮らし・文化・伝統の
未来への継承を目指します

交流センターふれ愛館に
気軽に立ち寄ってみよう

地域の祭りをつくる側・楽しむ側
の両方で関わろう

4 生活

ともにつくる 安心で安らぎが続く村

- (1) 防災・火災予防・防犯
- (2) 住まい
- (3) 環境・景観
- (4) 道路・河川
- (5) 公共交通
- (6) 地域活動
- (7) 行財政

- 4-(1) たくさんの目で見守り支えあい、
安心して暮らせる環境づくりを目指します
- 4-(2) 誰もが愛着を持って住み続けられる
住まい環境づくりを目指します
- 4-(3) 豊かな自然環境や里山風景の維持・継承を目指します
- 4-(4) 日々の安全な暮らしを支え
災害にも強い道路・河川づくりを目指します
- 4-(5) 日常生活を支える基盤となる
公共交通ネットワークの形成を目指します
- 4-(6) 地域コミュニティを村の核とした
さらなる地域活性化の実現を目指します
- 4-(7) 将来を見据えた行財政運営の実現を目指します

家庭で食料や
水を備蓄しよう

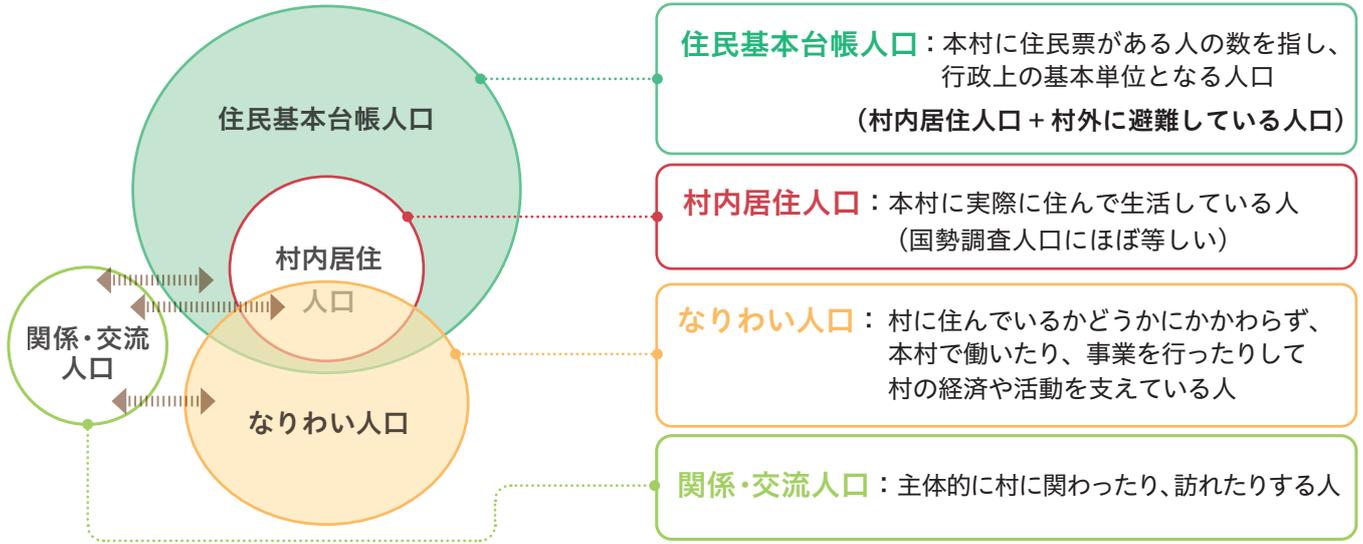
道路や河川の草刈りや
清掃活動に参加しよう

村の広報紙や
SNSで最新情報を
チェックしよう

東日本大震災と原発事故からの復興

3 目標

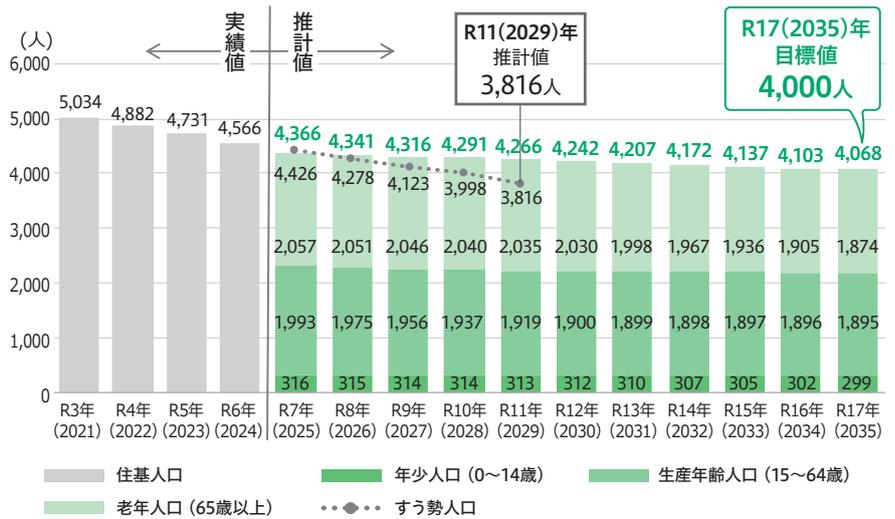
【村を支える様々な人口の関係図】



(1) 住民基本台帳人口

住民基本台帳人口の目標
令和17(2035)年
約4,000人

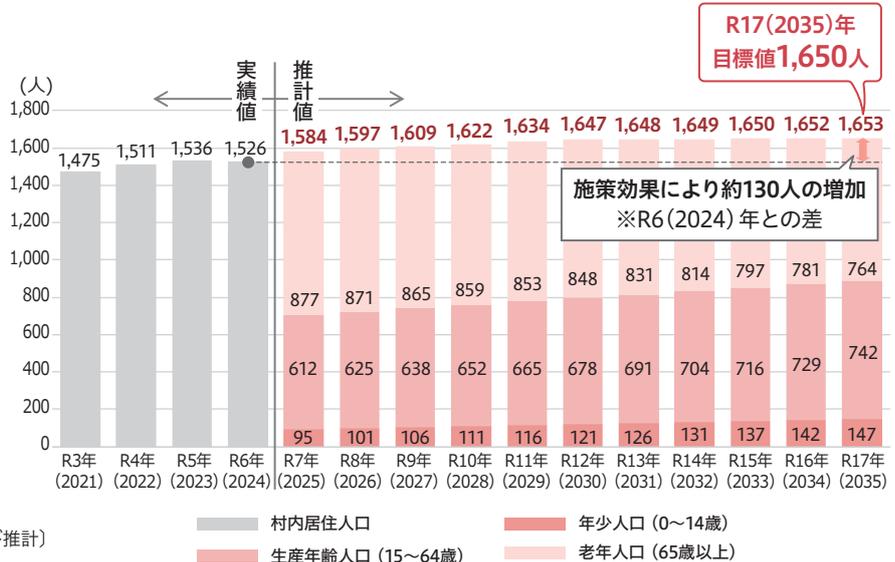
(資料：住民基本台帳(各年9月末時点)及び推計)



(2) 村内居住人口

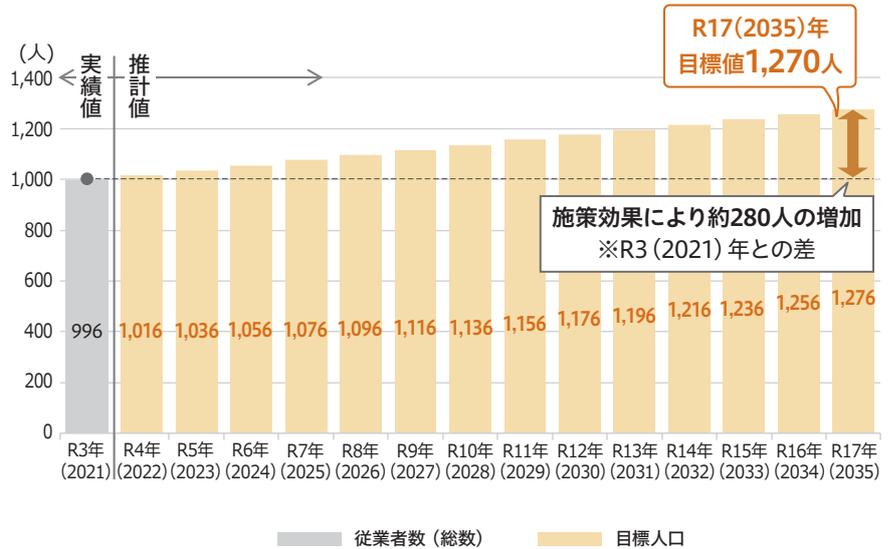
村内居住人口の目標
令和17(2035)年
約1,650人

(資料：避難者情報管理システム(住民課 住民係)及び推計)



(3) なりわい人口

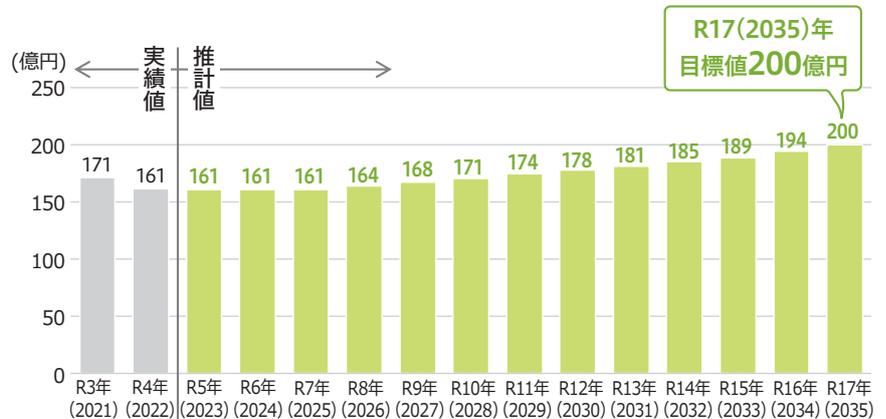
なりわい人口の目標
令和17(2035)年
約1,270人



(資料：経済センサス (令和3年))

(4) 村内総生産

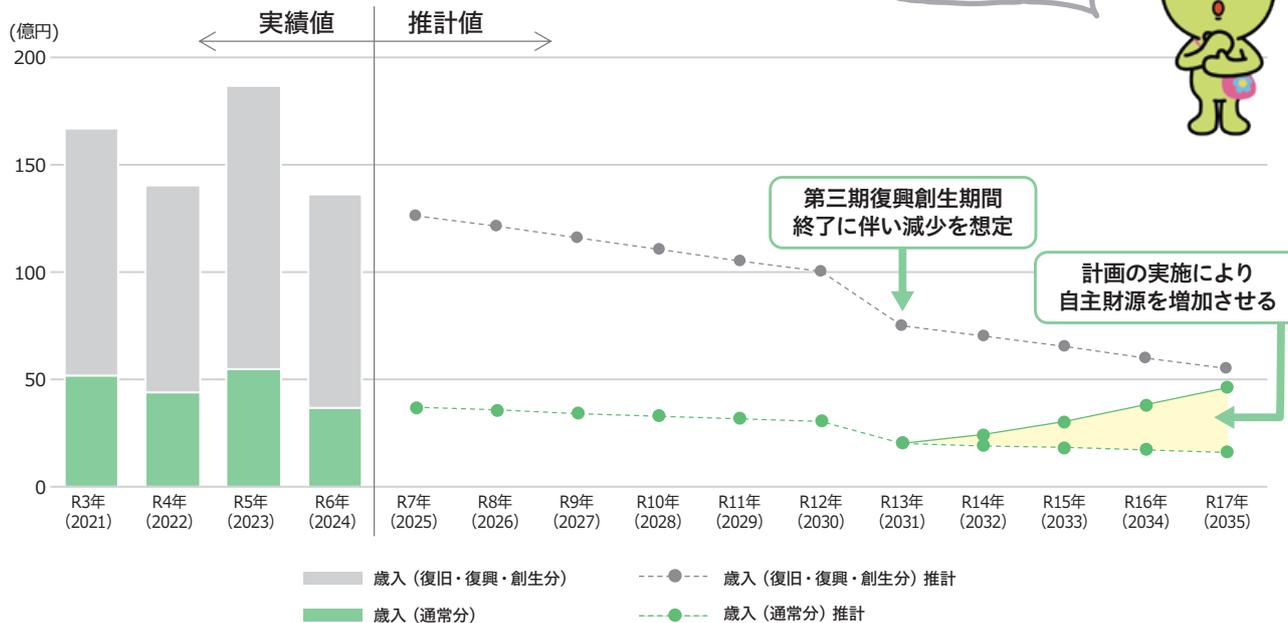
村内総生産の目標
令和17(2035)年
約200億円



(資料：令和4(2022)年度 福島県市町村民経済計算年報及び推計)

参考) 財政シミュレーション

●本村の財政規模のイメージ



本計画を着実に実施することで、自主財源を増加させるよ。



(資料：実績値は決算統計 (総務課 財政係) 歳入、推計値は想定)

4 共通重点事項

村を取り巻く状況が変化中、持続的な発展を実現するには、個別の分野にとどまらず、複数の分野にまたがる包括的な対応が求められています。こうした背景を踏まえ、本村では、「人口増加策」「ゼロカーボン」「DX（デジタル変革）」の3点をすべての分野に共通して長期的に重視すべき事項として定義します。

i 人口増加策

「住民基本台帳人口」「村内居住人口」の目標値とともに、自治体サービスの根源である税収に直結する、現役世代を中心とする幅広い世代による「生産」や「経済」活動の指標として「なりわい人口」の目標値を掲げた上で、すべての分野において人口増加策に戦略的に取り組み、持続可能な村を目指します。

マイプランの例

- 観光客や移住希望者に温かい声かけをして迎えよう
- 村のこどもたちの成長を地域全体で支え、共に喜び合おう

ii ゼロカーボン

本村は、令和4（2022）年3月14日「ゼロカーボンビレッジいいたて」を宣言しました。ゼロカーボンの村づくり及び関連事業は、すべての施策に関わるとともに、村民生活にも密接に関係します。今後は村民や事業者と連携しながら、地域ぐるみで温室効果ガスの排出削減に取り組んでいきます。

マイプランの例

- 家族や地域で協力して、農地を守ろう
- 木材を使った製品を日常に取り入れてみよう

iii DX（デジタル変革）

DX（デジタル変革）とは、デジタル技術やデータを効果的に活用し、新たな価値やサービスを創出する取組です。情報セキュリティや個人情報保護に十分配慮しつつ、業務の効率化や地域課題の解決につながるDXを推進します。

マイプランの例

- スマート農業など新たな技術を取り入れてみよう
- デジタル活用に向けてスマホの活用などを学ぼう



II 基本計画

1 なりわい

基本施策1 豊かな産業と新たな交流が生まれる村

基本計画1-(1) 農業 持続可能で稼げる農畜産業の実現

村にある未利用資源（牧草、稲わら、農業施設等）を有効に活用することが、循環型農業にも、地域経済の発展にもつながります。稼げる農畜産物を見極め、所得向上や生産量拡大につなげるとともに、後継者や新しい担い手育成などを進めます。

マイプランの例

- 村の牛肉や野菜を買って食卓に取り入れよう
- 家族や地域で協力して、農地を守ろう



基本計画1-(2) 林業 豊かな森を未来へつなぐ林業の実現

放射性物質対策を含めた森林再生事業等を着実に進めることにより、森林の多面的機能を回復させるとともに、重労働というイメージがある職場を魅力的なものとし、担い手確保につなげます。また、地域の森林資源を無駄なく活用し、林産物の出荷制限解除等に向けた検討を進めます。

マイプランの例

- 地域の里山を守るため、下草刈りなどを行おう
- 木材を使った製品を日常に取り入れてみよう

基本計画1-(3) 商業 働きがいとやりがいのある商工業の振興

村に根ざした安定的な雇用を守り育てることは、将来に希望を持って暮らしていける環境づくりにもつながります。引き続き新たな産業の創出を進めるとともに、既存企業の成長の可能性や個人のやりがいを見つけ、誇りを持って挑戦できる環境づくりを進めます。

マイプランの例

- 村内の道の駅やハイドラッグなどで買い物をしよう
- 村の特産品をSNSや口コミで紹介して村の魅力を広めよう

基本計画1-(4) 観光・交流 たくさんの人が集まり、ともに楽しめる環境づくり

村には、自然・歴史・文化・食などの資源が数多く存在しますが、その魅力や価値が広く知られていないものも少なくありません。村独自の資源を磨き上げ、村民と来訪者がともに楽しめる観光・交流を目指します。また、デジタル手法とアナログ手法の両面から情報を発信することで、村の魅力を多くの人に伝えます。

マイプランの例

- 観光客や移住希望者に温かい声かけをして迎えよう
- 村のお祭りやイベントなどに気軽に参加しよう

みんなで
取り組んで
みよう!



2 健康

基本施策2 一人ひとりが輝き支え合う村

基本計画2-(1) 健康 それぞれが思い描く健康づくりの実現

今の健康を未来につなぐため、自ら取り組むことができる食と運動を中心として、ともに学び、取組を広げることで、村民の健康意識を高めます。また、健康づくりの基本的な取組として健康診査の普及啓発を充実します。

マイプランの例

- 健康診査を毎年必ず受診しよう
- 毎日の生活に運動やウォーキングを取り入れ、メタボ予防に取り組もう

基本計画2-(2) 医療 さいごまで自分らしく生活できる医療体制の構築

村の中でも外でも安心して必要な医療を受けることができ、住み慣れた地域でいつまでも暮らせる村にするため、持続的な医療体制の構築が重要です。魅力ある職場など医療の環境づくりと、人材の確保、財源の確保を進めます。

マイプランの例

- かかりつけ医を持ち、体調不良時は早めにいたてクリニックを受診しよう
- 困っている方の送迎など、ともに助け合おう

基本計画2-(3) 地域福祉 ともに気づき、支え合う地域福祉の実現

お互いに関心を持ち合うことで孤立を防ぐとともに、村民一人ひとりが福祉への理解と自分の役割を認識し、高齢者も障がい者も要配慮者も誰一人取り残さない支援を進めます。特に移動できることは生活の上で重要であることから、サービスの維持充実を図ります。

マイプランの例

- 近くの一人暮らしの人などにやさしく声をかけよう
- ボランティアや地域交流に顔を出そう

基本計画2-(4) こども・子育て 地域みんなで支え合う子育てしやすい環境づくり

子育て世帯だけで子育てをするのではなく、世代間の交流や地域で集える場を通じて、こども達の安全・安心な暮らしを守り、地域みんなで子育てをする環境づくりを進めます。また、きめ細やかな支援により、子育て世帯の負担を軽減します。

マイプランの例

- 村でこどもたちを見かけたら、あいさつをしよう
- 子育ての集まりやイベントに参加して交流をしよう



みんなで
取り組んで
みよう!



3 教育

基本施策3 ^{ひら} 学びと文化で未来を拓く村

基本計画3-(1) 学校教育 ^{ひら} 一人ひとりの可能性と個性を伸ばす「未来を拓く教育」の実現

村外に居住する園児・児童・生徒も、村との関わりを増やしていけるよう、学校等からの積極的な情報発信に努めます。保護者と地域、までの里のこども園・いいたて希望の里学園とが連携し、地域に密着した「いいたてならでは」の教育活動を一体的に進めます。これらの取組により、村での学びが人生の糧となり、一人ひとりの可能性と個性を伸ばす教育につながります。

マイプランの例

- 学校行事に参加してこどもたちを応援しよう
- 学校ボランティアとして教育の場と一緒に参加しよう



みんなで
取り組んで
みよう!



基本計画3-(2) 生涯学習 地域の活性化を促す「自立的な学びによる生涯学習」の実現

村民の学習意欲が高まる機会を提供するとともに、交流センター・ふれ愛館などを拠点に、世代を超えた多様な人々の学び合い、村民の自立的な生涯学習活動を推進します。村民自らが発案・企画し、生涯学習活動を実行することで、交流の促進や地域全体の活性化につながります。

マイプランの例

- 交流センターふれ愛館に気軽に立ち寄ってみよう
- 興味のある講座やサークルに参加して学びを深めよう

基本計画3-(3) 運動・スポーツ 誰もが気軽に運動・スポーツを楽しめる環境づくり

子どもから高齢者までのあらゆる世代が生涯にわたって、日常的に体を動かして運動・スポーツに親しむことができる機会の創出や環境づくりを進めます。また、村内のスポーツ施設の利用を促し、健康増進はもちろん、人的交流と地域全体の活性化につながります。

マイプランの例

- 村のいいたてスポーツ公園やいいたてパークゴルフ場を利用して体を動かそう
- 仲間と一緒に楽しくスポーツをしよう

基本計画3-(4) 文化・伝統・歴史 地域に根ざした暮らし・文化・伝統の未来への継承

村の歴史には、震災に関わる出来事だけでなく、暮らしや文化、自然との関わりなど、多様な歩みが刻まれています。文化や伝統を未来へ継承するための取組は、今後10年が重要な時期となります。村の歴史や震災に伴う全村避難の記憶を深く継承するため、デジタルによる記録と、人材育成の両面からの取組を進めます。

マイプランの例

- 地域の祭りをつくる側・楽しむ側の両方で関わろう
- 村の文化祭や芸能発表祭などで村の歴史や文化に触れる機会を持とう

4 生活

基本施策 4 ともにつくる安心で安らぎが続く村

基本計画 4-(1) 防災・火災予防・防犯

たくさんの目で見守り支えあい、安心して暮らせる環境づくり

これまでの地域のつながりによる情報伝達や意識向上に向けた取組に加えて、デジタルなど多様な手段を活用し、必要な情報を一人ひとりに確実に届けます。さらに、地域・企業などのたくさんの目で見守り支えあい、村民が有事の際にそれぞれに行動でき、今より安心して暮らせる村づくりを進めます。

マイプランの例

- 家庭で食料や水を備蓄しよう
- 防災訓練に参加して有事に備えよう



基本計画 4-(2) 住まい 誰もが愛着を持って住み続けられる住まい環境づくり

多様な暮らし方や価値観に応じて、住まいに対する愛着や地域へのつながりを大切に、持続可能で暮らしやすい地域社会の実現を進めます。また、情報通信が当たり前に見える住環境の実現に向け、民間事業者との連携に努めます。

マイプランの例

- 自らの持ち家などを適切に管理しよう
- 家庭から出るごみの分別を徹底しよう

基本計画 4-(3) 環境・景観 豊かな自然環境や里山風景の維持・継承

これまでに育んできた自然や里山の風景を次世代へ継承するためには、田畑や山林に対する日々の取組が欠かせず、地域全体で協力することが必要です。一人ひとりが自然とともに生きる意識を持ち、除草・山林の手入れなどで身近な環境づくりを支えます。

マイプランの例

- 日頃から節電・エコドライブなどを実践しよう
- 地域の皆さんと一緒に草刈りや沿道の花植えなどに参加しよう

基本計画 4-(4) 道路・河川 日々の安全な暮らしを支え災害にも強い道路・河川づくり

道路・河川は、日々の暮らしに欠かせない身近なものであり、その維持管理と環境整備は、災害等への備えにもつながります。国・県や地域と連携しながら、計画的な維持管理と環境整備を進めます。

マイプランの例

- 道路や河川の草刈りや清掃活動に参加しよう
- 道路などの危険箇所を見つけたらすぐに行政区や役場に知らせよう



基本計画4-(5) 公共交通 日常生活を支える基盤となる公共交通ネットワークの形成

誰もが必要な時に安心して利用できる公共交通は、村民の日常生活を支える基盤となっています。これらのサービスを継続するために、民間事業者等との協力・連携、財源の確保など多様な取組を進めます。

マイプランの例

- 生活支援ワゴンやお助け合い事業を利用してみよう
- 公共交通の利用ルールを守って快適に使う

基本計画4-(6) 地域活動 地域コミュニティを村の核としたさらなる地域活性化の実現

震災以降、地域コミュニティの核となる行政区活動が以前のような活気を取り戻すことが難しい面がある一方で、移住者や若い世代といった新たな担い手も加わっています。村民の自発的な取組や協働を継続するとともに、世代や立場を超えて手を取り合った地域に根ざした活動を再び力強く展開します。

マイプランの例

- 地域の集まりや活動に気軽に参加しよう
- 移住者や地域おこし協力隊の方に気軽に声をかけよう
- 家族や地域の大切さを見直そう

基本計画4-(7) 行財政 将来を見据えた行財政運営の実現

新たな財源確保のための多角的な手法を積極的に検討するとともに、行政運営の効率化を図るため、DXや行政改革にも継続的に取り組み、将来を見据えた行財政運営を進めます。

マイプランの例

- 村の広報紙やSNSで最新情報をチェックしよう
- 村の施設を積極的に利用しよう
- 村をよりよくするための活発な意見交換を行おう



5 東日本大震災と原発事故からの復興

東日本大震災と原発事故から15年以上が経過し、一歩ずつ復興の歩みを進めてきましたが、真の復興を果たすためには、これからも長い道のりが続くと考えられます。国などと連携し、帰還困難区域をはじめ村全域の復興と発展、なりわいの再生・創出、暮らしの再建等を進めます。

また、全村避難の経験や、これまでの復興までの歩みを次世代へと継承し、国内外へ強く発信します。

あなたも一緒に取り組んでみましょう！

この計画を着実に進めていくためには、行政だけでなく、こどもから大人まで多くの方々と「村の将来像」を共有し、お互いに協力して行動していくことが重要です。

あなたのやることを【マイプラン】に書き込んで、一緒に取り組みましょう。

なお、皆さんが気軽に行動できることを「みんなで取り組んでみよう！」として、本概要版の各所に掲載していますので、参考にしてください。

私はこれに取り組みます【マイプラン】

飯舘村第7次総合振興計画【概要版】

発行年月：令和8年3月

発行：福島県飯舘村

編集：飯舘村役場村づくり推進課

〒960-1892 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1

Tel：0244-42-1611(代表)／Fax：0244-42-1601

HP：<https://www.vill.iitate.fukushima.jp/>

飯舘村第7次総合振興計画

